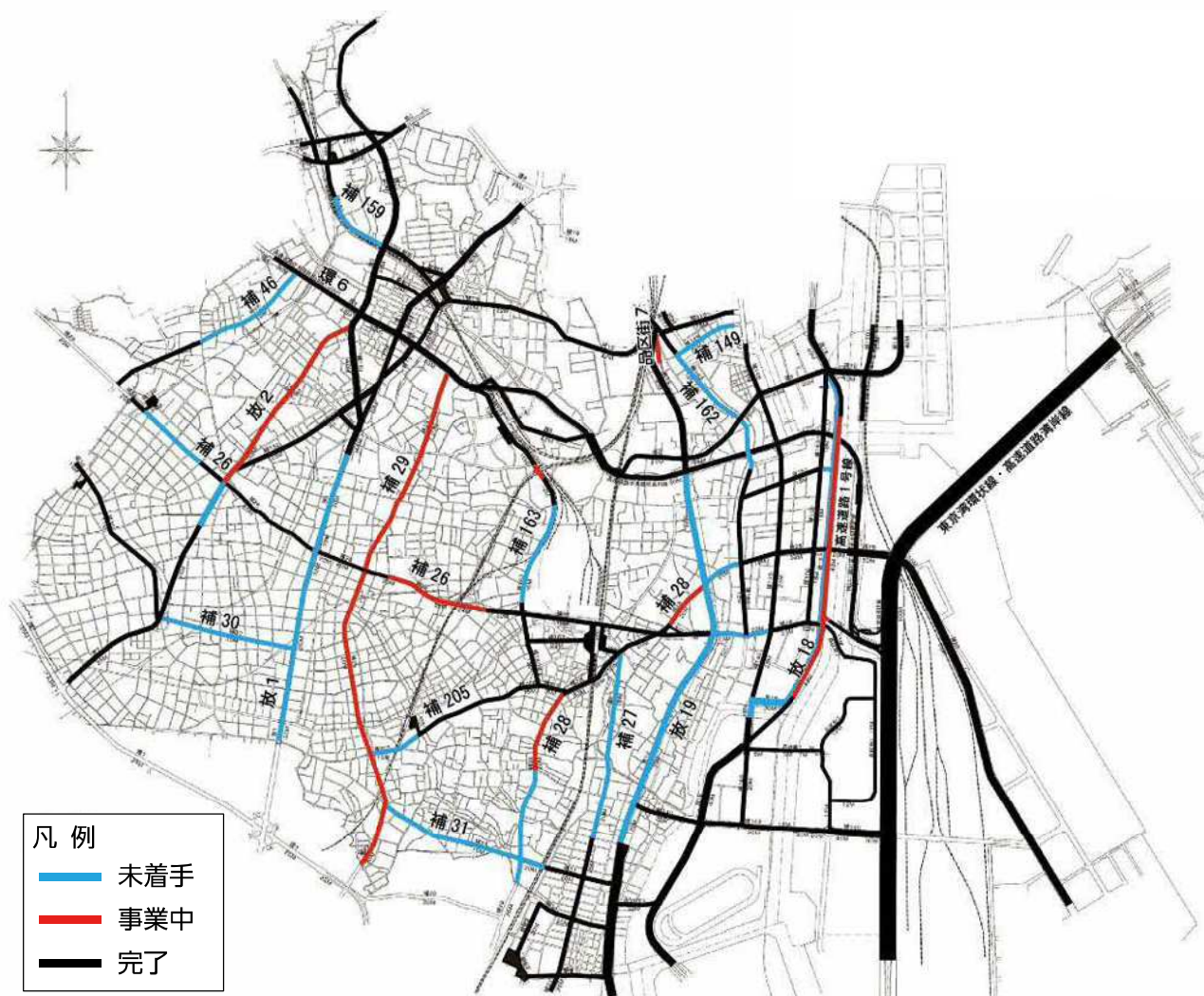


# 都市計画道路事業

## ■都市計画道路の整備状況

都市計画道路とは、都市計画法で定められる基幹的な都市施設で、広域的な交通処理機能や市街地内の空間形成等に配慮して配置されており、長期的な整備計画を円滑かつ着実に実施するため、将来の道路整備に必要な区域をあらかじめ明確化し、予定区域の土地利用に一定の制限を課している道路です。

令和5年(2023年)3月末時点の区内の都市計画道路の整備状況は、下図のとおりです。



### 現在事業中の路線

- ・区施行路線  
補助163号線  
区画街路第7号線
- ・都施行路線  
放射 2号線 1 区間 (特定整備路線)  
補助26号線 1 区間  
補助28号線 2 区間 (うち1区間が特定整備路線)  
補助29号線 6 区間 (特定整備路線)
- ・首都高速道路株式会社施行路線  
都市高速道路第1号線、湾岸線 (改修工事)

拠点整備

品川地区

大崎地区

大井地区

荏原地区

安全な市街地形成

地区計画

道路・公園・鉄道

## ■区施行路線の状況

現在品川区が事業を実施している都市計画道路は補助163号線で、計画延長2,160mのうち、約64%にあたる約1,384mの事業が完了しています。

また、Ⅰ・Ⅱ期区間の整備を終えた補助205号線は、残るⅢ期区間の事業化の検討を進めています。

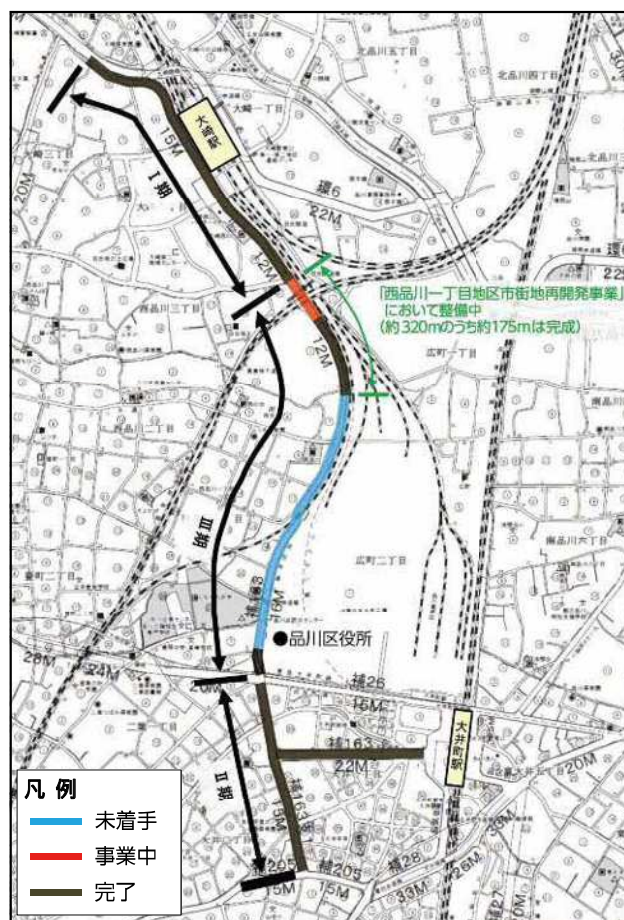
### 〔1〕補助163号線整備事業

補助163号線は、五反田・大崎・大井町を結ぶ区の重要な都市軸道路として整備を進めています。

環状6号線から百反通りまでのⅠ期区間とJR大井町駅および補助26号線から補助205号線までのⅡ期区間は整備が完了しています。

Ⅲ期区間については、西品川一丁目地区市街地再開発事業区間(約320m)において整備を進めているところです。東急大井町線ガード下区間(約65m)は、令和5年3月に事業完了しました。西品川一丁目市街地再開発事業区間は、平成29年度までに約175mが完了し、現在はJR横須賀線・東海道新幹線交差部区間の整備を進めているところです。(P.15「西品川一丁目地区」参照)

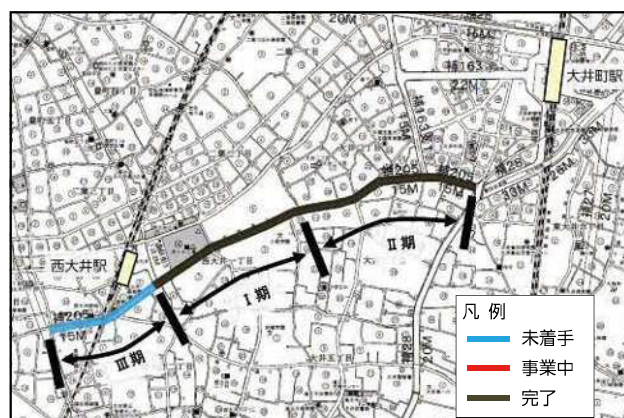
残るⅢ期区間についても、事業化に向けた検討を進めています。



### 〔2〕補助205号線整備事業

補助205号線は、区を中心核である大井町駅周辺と西大井地区を結ぶ横断軸道路として整備を進めるとともに、沿道地域の都市基盤の整備、交通安全、防災対策の向上を図るための地区幹線道路としても整備を進めています。

Ⅰ期・Ⅱ期区間については整備が完了しており、現在はⅢ期区間であるJR横須賀線・東海道新幹線交差部区間(原踏切)の事業化に向けた検討を進めています。





# 都市計画公園事業

## ■旗六公園の新設 事業完了

旗の台六丁目には公園・児童遊園がなく、公園整備の優先度が高い地域であり、以前から地域住民より公園新設の要望を受けていました。

旗の台六丁目内に公園用地を取得することができたことから、憩いと緑豊かな公園の創出を目的とし、地域住民によるワークショップでの意見等をもとに、新たに公園を整備しました。

【事業期間：令和2年度(2020年度)～令和4年度(2022年度)】



## ■勝島平公園(しながわ区民公園)の改修整備 事業中

勝島平公園(しながわ区民公園)は、開園から約30年が経過し、施設の老朽化・多様な利用ニーズへの対応などの課題に対応するため、段階的な再整備を実施します。令和2年度までに中央ゾーンおよび南側ゾーンの改修が終了し、令和3年度からは、北側ゾーンにおいて、老朽化した施設の更新、バリアフリー対応、運動施設の改修、防災機能の強化を目的として整備します。

【事業期間：平成30年度(2018年度)～令和5年度(2023年度)(予定)】



中央ゾーン (子どもの遊び場)



南側ゾーン (芝生広場)

## ■天王洲公園(東品川海上公園)の拡張整備 事業完了

天王洲公園(東品川海上公園)は、品川区の臨海部に位置し、区民の地域コミュニティの場や親水空間であると同時に、広域避難場所に指定されていることから、避難スペース等として防災上重要な役割を担っています。

親水性の向上ならびに東側道路からのアクセス機能の向上を一層推進するため、天王洲公園に隣接する東品川三丁目地内における約0.1ヘクタールの区域を拡張整備しました。

【事業期間:平成30年度(2018年度)～  
令和3年度(2021年度)】



拠点整備

品川地区

大崎地区

大井地区

荏原地区

安全な市街地形成

地区計画

道路・公園・鉄道

# 連続立体交差事業

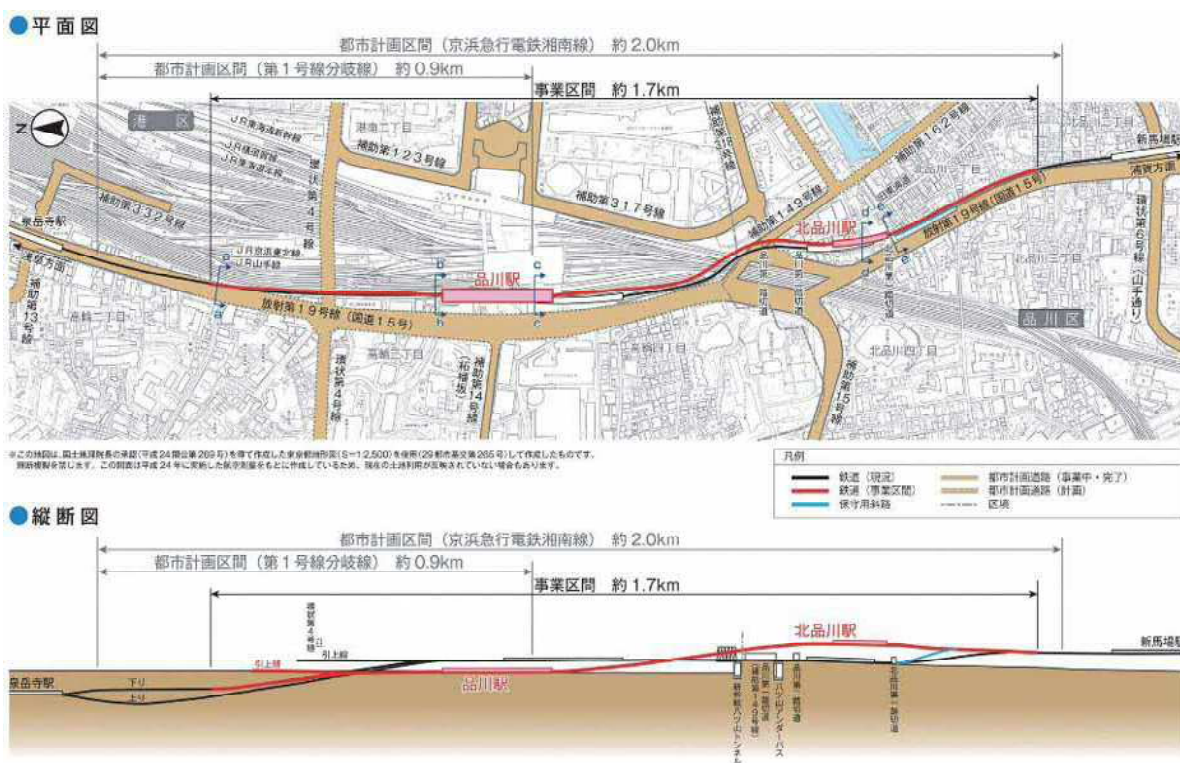
## ■京浜急行電鉄湘南線(京急本線)[泉岳寺駅～新馬場駅間]

京浜急行本線の連続立体交差化計画は、泉岳寺駅から新馬場駅までの約1.7kmの区間について鉄道を高架化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化するものです。

この計画の実施により、品川第一踏切などの3か所の踏切が除却され、踏切での交通渋滞の解消、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。さらに、鉄道により分断されていた地域が一体化され、安全で快適なまちづくりが実現されます。

本事業は、平成30年(2018年)12月に都市計画決定され、令和2年(2020年)4月に事業が認可されました。

連続立体交差事業は東京都が事業主体となり進めておりますが、区ではこれと併せ北品川駅前広場整備事業を実施しています。



用地測量等説明会パンフレット(東京都)より引用

### 計画の概要

≪都市高速鉄道京浜急行電鉄湘南線(京浜急行本線)≫

- ①区間 港区高輪二丁目～品川区北品川二丁目
- ②延長 約 2.0 km (事業区間約 1.7 km)
- ③構造形式 地下式、地表式、高架式(嵩上式)
- ④駅施設 品川駅 ホーム延長:約221m ホーム幅員:約5m～12m  
北品川駅 ホーム延長:約113m ホーム幅員:約2m～5m

≪都市高速鉄道第1号線分岐線(京浜急行本線)≫

- ①区間 港区高輪二丁目～港区高輪三丁目
- ②延長 約 0.9 km
- ③構造形式 地下式、地表式



# ■東急大井町線戸越公園駅付近

東急大井町線戸越公園駅付近には、現在、6カ所の踏切が連続して存在しており、踏切事故の危険性や市街地の分断、また、災害時における避難行動に支障をきたすなどの課題があります。

このため、区では以前から「品川区まちづくりマスタープラン」や「戸越公園駅周辺まちづくりビジョン」等において、鉄道立体化による踏切の解消をまちづくり方針等に掲げ、安心して暮らせる活力ある地域生活拠点の形成をめざしています。

このような背景を踏まえ、東京都では、平成28年3月に東急大井町線戸越公園駅付近を連続立体交差事業の事業候補区間に位置づけ、事業化に向けて具体的な検討を進めています。

区では、鉄道立体化の早期事業化に向けて、東京都や鉄道事業者等と一体となって事業を推進するとともに、鉄道立体化を見据えたまちづくりを推進していきます。

## 【戸越公園駅周辺の踏切の現況】



※戸越公園1号踏切は、一日あたりの踏切歩行者等交通遮断量  
(歩行者および自転車の交通量×踏切遮断時間)が10万を超える歩行者ボトルネック踏切

## 【踏切の現況写真】

